噺家人生（トーキングロード）　山あり、谷あり

〔第61回〕

洒落たOPEN／CLOSED

文 林家希林　text by Kirin Hayashiya

落語家は運動不足な人が多い。もれなく僕もそのうちの一人。運動不足のくせに膝や腰を痛めている人が多い。なぜ運動不足が多いのか、なぜ膝や腰が痛いのか考えてみたらそれもそのはず、体の姿勢の中で一番悪いといわれる正座をして喋るだけという、きついんだか、楽なんだかよく分からない商売なんです。

もっと健康的な落語家にならなくてはいけないと思い、本格的なジムに通ってみようかと思ったのですが、性分的に自主性が強過ぎるとサボる傾向がある僕は「FEELCYCLE」というジムに通い始めました。「FEELCYCLE」は、暗闇の中で洋楽を爆音で聴きながらインストラクターと自転車をこぎまくるというものなんですが、これが運動不足の僕にはつら過ぎました。

高校時代の野球部の練習を思い出すくらいハードでして、開始3分で全身から汗が噴き出る。僕は10分後に足を止めてしまいました。しかし周りを見てみると汗をかきながら楽しそうに自転車をこいでいるではありませんか！自分がどれだけ体力が落ちているかを見せつけられたようでした。しかし汗の量からしてダイエットには最高のレッスン。ヘトヘトで45分が終わり、インストラクターの方に「最初はみんなできないですが、3、4回やれば慣れますよ」とのこと。本当でしょうか？この真偽を僕は身をもって体感してこようかと思います。この進捗はまた書きたいと思います。

ここで突然ですが『江戸クイズ』。江戸時代、とある建物の前には板に平仮名で「わ」と書かれた板と、「ぬ」と書かれた板が交互に掛けられていました。これは何の建物でしょうか？ヒントは令和の現在でも実在する、運動した後に寄りたくなる施設です。制限時間は30秒（笑）、よーいスタート！答え分かりましたか？「『わ』が書かれた板」→「沸いた」、「『ぬ』が書かれた板」→「抜いた」。「湯が沸いた、湯を抜いた」で答えは「銭湯」です！OPEN／CLOSEDをこんな風に表していた、江戸の人ってお洒落ですよね。

profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。
2009年林家木久扇に入門
2013年二ツ目昇進。
2023年9月下席より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長!
趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。
空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。
初の著書『師匠!』発売中